



～ 鹿児島企業の顔・人・心～
『木とともに生きる。』

株式会社 野元

代表取締役社長 森山 輝男

株式会社野元は、1946年（昭和21年）製材業を主として隼人町で創業しました。当初は枕木の製造を行い、その後製材を主に行っていましたが、時流に乗り、住宅資材総合卸業として現在まで活動を行っております。併設として、平成2年3月には木材プレカット工場（始良木材産業協同組合）を設立いたしました。

また、平成9年には新社屋が完成し、新たに「木と生活文化ミュージアム南風人館（はやとかん）」をオープンさせています。



南風人館内部

私どもでは、会社は公器であると考えており、主要な取引先である地域工務店様のみならず、地域の皆様へ今まで頂いたものを還元したい、その思いから設立したものであります。この「木と生活文化ミュージアム南風人館」は、再生建築の一環と致しまして旧西鹿児島駅で長年使用されておりました構造用大断面集成材を構造材として使用したものでございます。南九州を中心に、木工をはじめとした様々なジャンルの作品を展示いたしており、多くの皆様方にお越しいただいております。

さて、本業の製材業についてですが、鹿児島産のスギ・ヒノキを主に製材しております。昨年度は、「かごしま材」の認証工場として指定を受け、

良質な木材を安定して供給することをテーマに、日々精進を続けているところです。製品は、「霧島杉」「霧島桧」とネーミングし、始良地区の他製材業者とも相互連携し、流通を図っております。現在は構造材のみならず、壁板やフローリングの製造も行い、より幅広いユーザー層への浸透を図っております。また、今年6月には乾燥材供給施設「きりしまドライウッドセンター」もオープンし、これまで以上に良質な「かごしま材」の供給を行ってまいります。



きりしまドライウッドセンター

一方、製材という仕事に携わっておりますので、必ず木質系廃棄物が発生するわけですが、当社では炭化という手法で処理を行っております。炭化物の性能評価や、製品化についてのアドバイスを工業技術センターから頂きました。現在も、木材の強度性能試験などで様々なご指導、助言を受けており、ブランドとしての「かごしま材」の確立にあたり、本当に助かっています。

今後も技術力の向上、人材育成のためにも、工業技術センターでの様々な講習会に積極的に参加をしたいと考えています。また、鹿児島の地域性、独自性を前面に生かした製品作りを行っていくためにも、工業技術センターのお力をお借りしながら邁進していきたいものです。